

# 自然災害時の電気

自然災害発生時には停電の可能性が高くなります。  
皆さん一人ひとりが日頃から「自分の安全は自分で守る」心構えをしておくとともに、  
さまざまなことに対して対策を考えておくことが大切です。

## 災害時における電気の対処



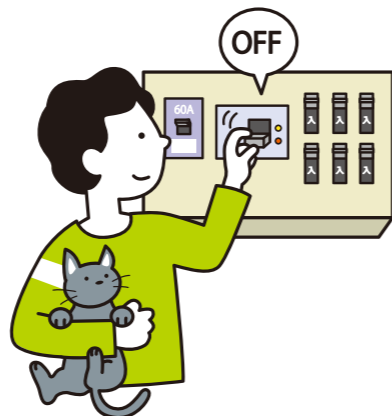
### スイッチを切りプラグを抜く

特に火事の原因となりやすい  
電気ストーブやアイロン、ドライヤーなどの電気製品は、  
すぐにプラグをコンセントから抜くことを心がけましょう。



### ブレーカーは 「切」にして避難

災害時に家の外へ避難するときは、  
電気が原因で火災を起こさないように  
ブレーカーを必ず「切」にしてから  
避難してください。



### ガス臭いときは スイッチに触らない

家の中でガスの臭いがしたときは、  
電気のスイッチをつけると、  
火花が飛んでガスに引火する  
おそれがあるので、  
絶対に触らず、使用しないでください。

### 水にぬれた電気製品は必ず点検

電気製品や配線類が浸水や漏水などで  
水にぬれてしまったときは、漏電などの原因になるので、  
必ず電気店などでしっかり点検してください。



### 屋外では電線に注意

災害で切れた電線には  
触れないようご注意ください。  
見つけたらすぐ関西電力送配電に連絡してください。

### 感震ブレーカー

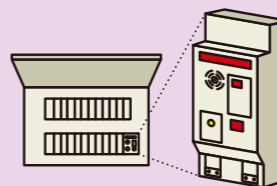
地震では、電気が主な火災発生原因の一つとなっています。  
感震ブレーカーは、地震を感知すると  
電気を自動的に止めます。  
地震による電気火災を防止するためにも、感震ブレーカーの設置をおすすめします。

詳しくは  
経済産業省・  
内閣府の  
ホームページを  
ご覧ください。



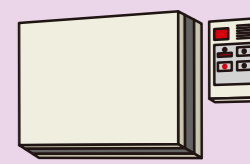
#### 分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵された  
センサーが揺れを感知し、  
漏電ブレーカーを落として  
電気を自動的に止めます。  
電気工事が必要です。



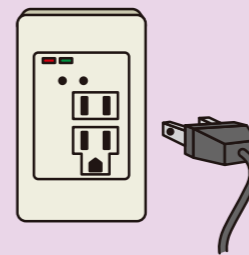
#### 分電盤タイプ(後付型)

感震機能を外付けするタイプで、分電盤に内蔵された  
センサーが揺れを感知し、  
電気を自動的に止めます。  
漏電ブレーカーが設置され  
ている場合に設置可能で、電気工事が必要です。



#### コンセントタイプ

内蔵されたセンサーが  
揺れを感知し、  
電気を自動的に止めます。  
工事が必要なタイプと、  
コンセントに差し込むだけの  
タイプがあります。



#### 簡易タイプ

ばねの作動や  
重りの落下により  
ブレーカーを落として、  
電気を止めます。  
電気工事は不要で、  
経済的ですが、  
他のタイプとくらべると  
信頼性が低くなります。

